

HONDA®

ALL NEW VT250F

オンロード・クオーターの新たな指標をしめす最先鋭マシン



THE PROGRESSIVE 90°V-TWIN

DOHC 8-VALVE LIQUID COOLED

Vツインの進化が、
ふたたび4サイクル・パフォーマンスの
新次元を創る。



VE
VIN
OLED



ALL NEW



ALL NEW

VT250F



この劇的なモデルチェンジを誰が予想ただろう

水冷90度V型2気筒エンジンをはじめとする革新的なマシンコンセプトで、数多くのライダーたちに支持され、一大クオーター旋風を巻き起こした、VT250F。しかしホンダは、新しい可能性に挑戦し、このベストセラーマシンを大きく進化させた。

そしていま、誕生、ALL NEW VT250F。

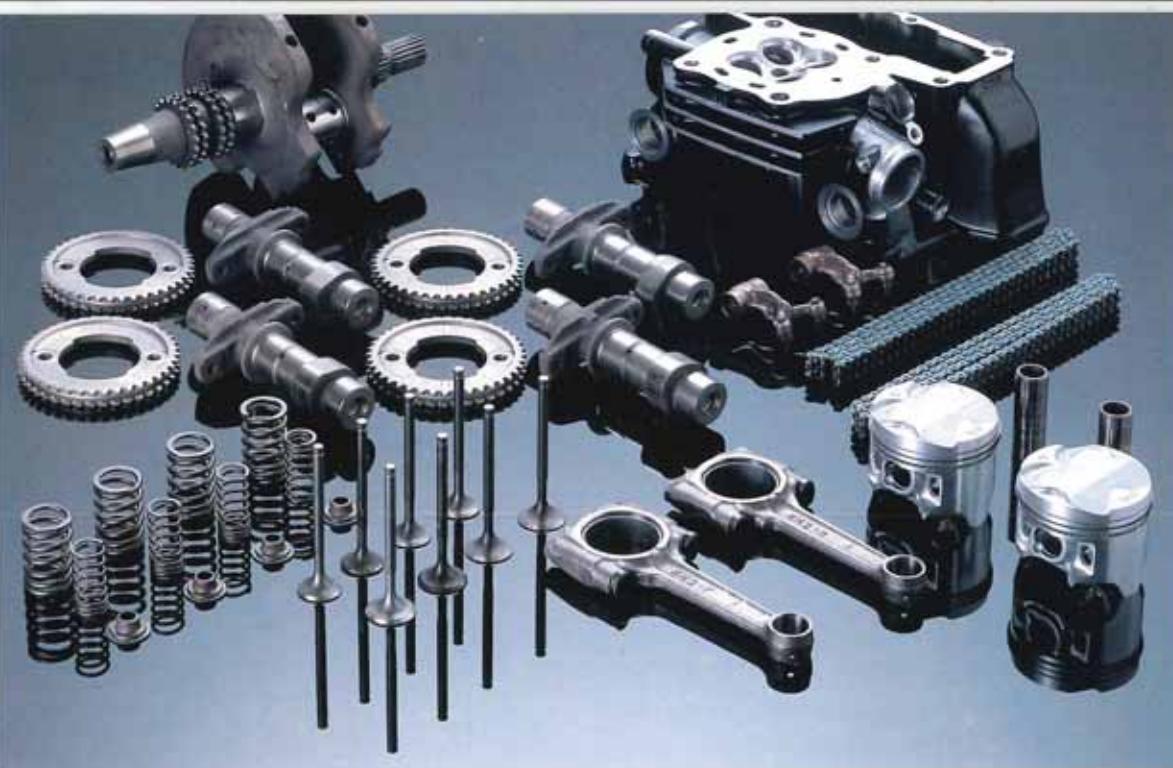
ハイ・イナーシャポートやハイバー・コンロッドなど、ホンダ4サイクル技術の総力を結集し、さらに高性能に変身したエンジン。ひとたびアクセルを開ければ、低回転域から高回転域まで、みなぎるVパワーが吹きあがる。

また、レーサー感覚のフロント16、リア17インチのスポーツコムスター、さらにグレードアップしたパワーをしっかりと支える角型ダブルクレードルフレーム。

そしてそのスタイリング。トップからテールまで、滑るように流れてゆくエアロフォルムは、あくまでも走ることを科学したカタチ。

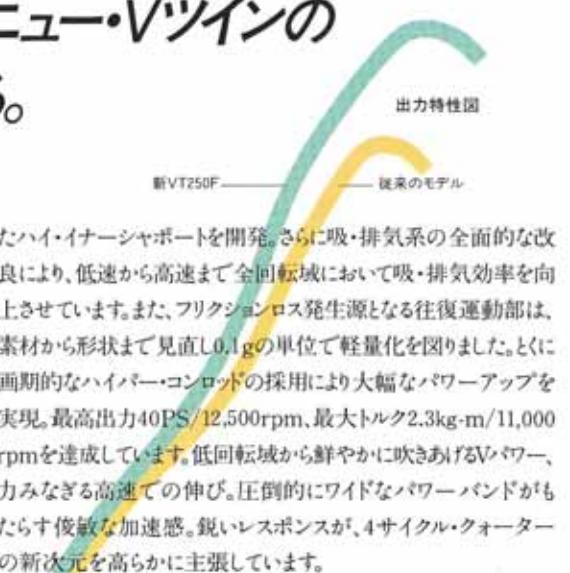
すべてが新しいVT250F。その高次元でバランスされたトータルパフォーマンスは、走ることの歓びで、操ることの高鳴りで、ふたたびライダーの全身を魅了することだろう。

NEW POWER BY NEW TECHNOLOGY



「吸・排気効率向上」と「フリクションロス低減」への挑戦。ホンダ・エンジン技術の粹は、ニュー・Vツインのあらゆるパーツに息づいている。

水冷90度V型2気筒DOHC8バルブエンジン
まさに比類ない4サイクル・パフォーマンスを誇る水冷90度V型2気筒DOHC8バルブエンジン——第一次振動を理論上"0°"にした90度のバンク角。狭角配置で燃焼効率を高めた合計8個のバルブ。11.0の高圧縮比を実現したコンパクトなルーフ型燃焼室など。そのハイテクノロジーの数々は、VT250Fの先進性の象徴ともなりました。この完成度の高いメカニズムをさらに進化させるために、ホンダはこのエンジンを「吸・排気効率向上」と「フリクションロス低減」という2つのテーマから徹底して見直し、高度な技術を結集させました。まず、吸気ポートには、ユニークなエアーガイドフィンを備え



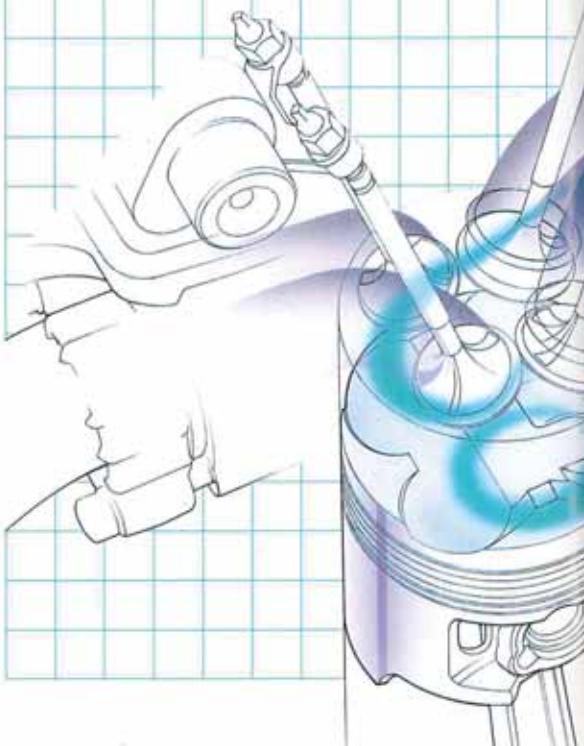
たハイ・イナーシャポートを開発。さらに吸・排気系の全面的な改良により、低速から高速まで全回転域において吸・排気効率を向上させています。また、フリクションロス発生源となる往復運動部は、素材から形状まで見直し0.1gの単位で軽量化を図りました。とくに画期的なハイパー・コロッドの採用により大幅なパワーアップを実現。最高出力40PS/12,500rpm、最大トルク2.3kg-m/11,000rpmを達成しています。低回転域から鮮やかに吹きあげるパワー、力みなぎる高速での伸び。圧倒的にワイドなパワー・バンドがもたらす俊敏な加速感。鋭いレスポンスが、4サイクル・クオーターの新次元を高らかに主張しています。

流体力学の追求から生まれたハイ・イナーシャポート(高慣性吸気ポート)を装着し、吸気効率は飛躍的に向上。

いかに効率よく混合気を吸収し、燃焼ガスをすみやかに排出せらるか。エンジンの排気量を変えずに、高出力化を図るには、この吸・排気効率の向上が基本となります。その手段としては、まず混合気の通路を広くすればよいのですが、混合気の流速が落ちるという問題が生じ、とくに低中速域では著しいレスポンスの劣化を招きます。ホンダは、画期的なポート形状を備えたハイ・イナーシャポートを開発し、この課題を克服しました。その形状は、

HIGH INERTIA PORT

従来のポート形状では、混合気が方向性を失いやく、とくに低・中速域では、流速が低下します。しかし、ハイ・イナーシャポートでは、混合気をエアーガイドフィンで整流して、流速を高めています。

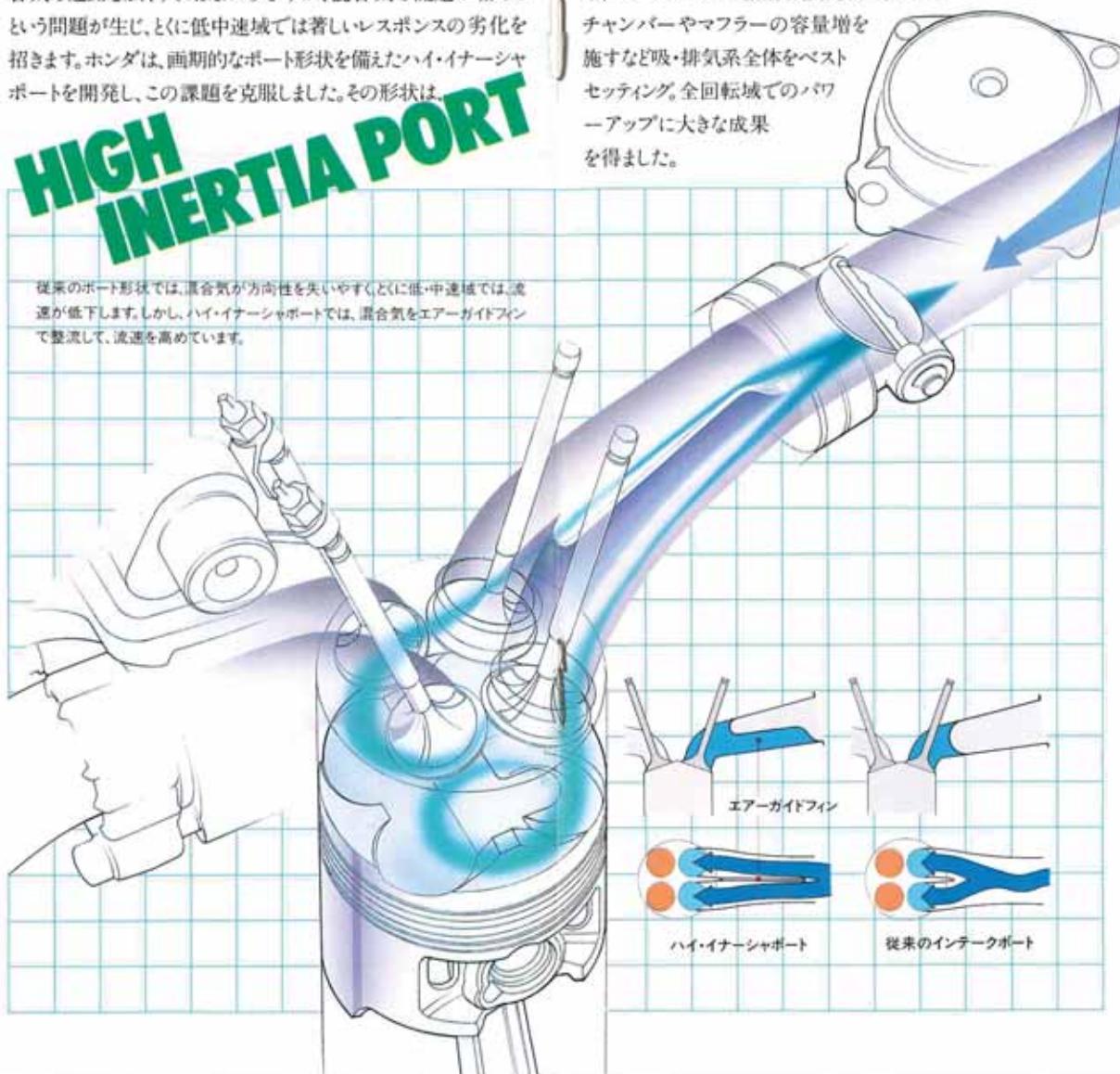


流体力学の追求から生まれたハイ・イナーシャポート (高慣性吸気ポート)を装着し、吸気効率は飛躍的に向上。

いかに効率よく混合気を吸引し、燃焼ガスをすみやかに排出させるか。エンジンの排気量を変えずに、高出力化を図るには、この吸・排気効率の向上が基本となります。その手段としては、まず混合気の通路を広くすればよいのですが、混合気の流速が落ちるという問題が生じ、とくに低中速域では著しいレスポンスの劣化を招きます。ホンダは、画期的なポート形状を備えたハイ・イナーシャポートを開発し、この課題を克服しました。その形状は、

HIGH INERTIA PORT

従来のポート形状では、混合気が方向性を失いやすく、とくに低・中速域では、流速が低下します。しかし、ハイ・イナーシャポートでは、混合気をエアーガイドフィンで整流して、流速を高めています。



キャブレターとインテークポートの間に、混合気をふたつの吸気バルブに分けるエアーガイドフィンを設置。キャブレター側に長く伸びたこのフィンが、混合気をガイド整流して流れのよどみを解消。方向性を与えられた混合気は流速を高め、燃焼室内では理想的なスワール効果をもたらします。そのため燃焼効率も飛躍的に向上させました。さらに、ハイ・イナーシャポートの効果を最大限に生かすため、キャブレターのベンチュリー径をあげたのをはじめ、エアクリーナー容量も増加。排気系でも、チャンバー やマフラーの容量増を施すなど吸・排気系全体をベストセッティング。全回転域でのパワーアップに大きな成果を得ました。

画期的なハイパー・コンロッドの採用をはじめ、作動部分を徹底軽量化し、フリクションロスを大幅に低減。

HYPER CON'ROD

燃焼によって発生する爆発エネルギーを、いかに効率よく駆動力に変えるか。この課題が、フリクションロスの低減という、いまやエンジンテクノロジーの大きなテーマとなっています。ホンダはフリクションロスの発生源となるすべてのパーツを一点一点吟味。とくにフリクションロス低減にもっとも効果的とされるコンロッドの軽量化に挑み、画期的な「ハイパー・コンロッド」を採用しました。これは合金鋼に表面硬化処理を加え、コンロッド表面をきわめて硬い層でおおうという高度な技術により完成したものです。これにより従来に較べ強度、剛性が飛躍的に高まり、大幅な軽量化が可能となりました。そのほか、従来モデル比較写真でも明解なように、ピストン、吸・排気バルブのほか、ピストンピン、ロッカーアームなども新設計。軽量化を達成するとともに、摺動部の接触面積も大幅に減少。また、カムチェーンには、ダブルブッシュチェーンを新採用し、重量を大きく軽減させると同時に、カム駆動音も大幅に少なくなっています。

NEW



最適な点火タイミングをコンピューター制御。
250ccクラス世界初デジタル式
フルトランジスタ・イグニッションシステム。

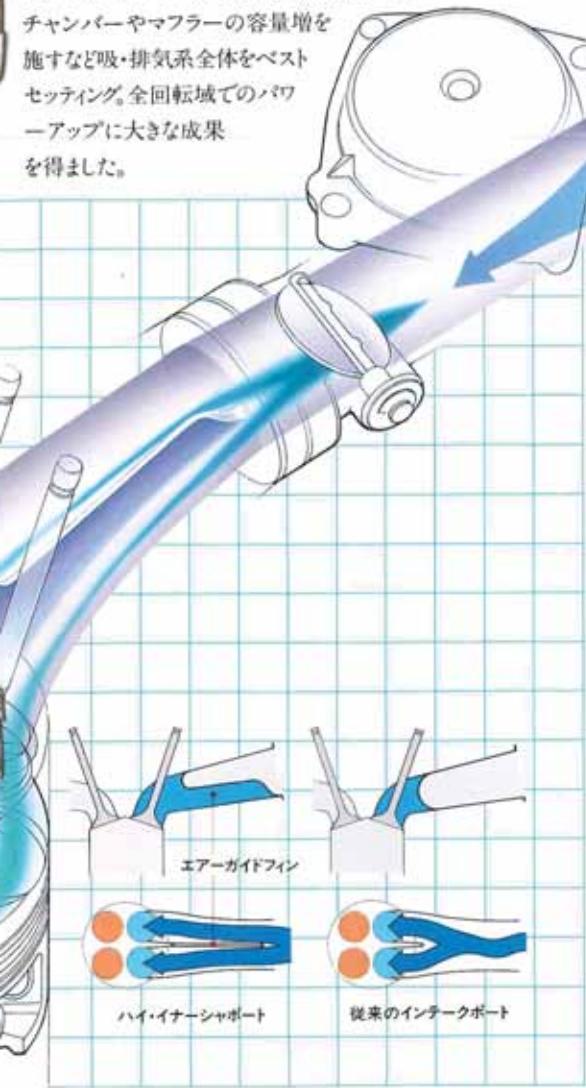
リッター160馬力という高性能化を達成するには、きめ細かな点火タイミングが要求されます。そのため ALL NEW VT250Fは、250ccでは世界で初めてのデジタル式フルトランジスタ・イグニッションシステムを採用。このシステムユニットに内蔵されたコンピューターが、エンジン回転数に応じ、最適な点火時期をきめ細かくコントロール。この点火制御システムが、高出力にもかかわらずスムーズで、燃費のよいエンジン特性をもたらしています。



ホンダの4サイクル・エンジン技術ともいべき先進機構の数々。

- バイスター式スラント型2連VDコンパクト、そして高い吸入効率を誇るブレーテー。走行状態によるフロート面の均質で安定した混合気を得られます。
- 油圧クラッチシステム
250ccクラス唯一の高級メカニズム。軽一リングがいつまでも変わりません。
- クロスレシオ6速ミッション&遊星ギア
適切なレシオ配分でスポーツ・ランをエンスミッシュ。エンジン機構には遊星ギアエンジン幅に納めています。

キャブレターとインテークポートの間に、混合気をふたつの吸気バルブに分けるエアーガイドフィンを設置。キャブレター側に長く伸びたこのフィンが、混合気をガイド整流して流れのよどみを解消。方向性を与えた混合気は流速を高め、燃焼室内では理想的なスワール効果をもたらします。そのため燃焼効率も飛躍的に向上させました。さらに、ハイ・イナーシャポートの効果を最大限に生かすため、キャブレターのベンチュリー径をあげたのをはじめ、エアクリーナー容量も増加。排気系でも、チャンバー やマフラーの容量増を施すなど吸・排気系全体をベストセッティング。全回転域でのパワーアップに大きな成果を得ました。



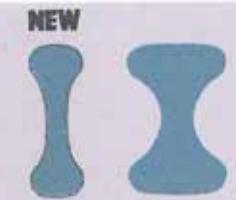
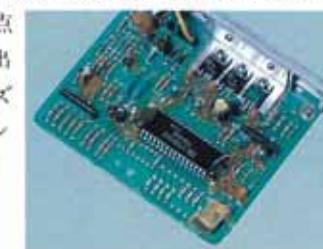
画期的なハイパー・コンロッドの採用をはじめ、作動部分を徹底軽量化し、フリクションロスを大幅に低減。

HYPER CON'ROD

燃焼によって発生する爆発エネルギーを、いかに効率よく駆動力に変えるか。この課題が、フリクションロスの低減という、いまやエンジンテクノロジーの大きなテーマとなっています。ホンダはフリクションロスの発生源となるすべてのパーツを一点一点吟味。とくにフリクションロス低減にもっとも効果的とされるコンロッドの軽量化に挑み、画期的な「ハイパー・コンロッド」を採用しました。これは合金鋼に表面硬化処理を加え、コンロッド表面をきわめて硬い層でおおうという高度な技術により完成したものです。これにより従来に較べ強度、剛性が飛躍的に高まり、大幅な軽量化が可能となりました。そのほか、従来モデル比較写真でも明解なように、ピストン、吸・排気バルブのはか、ピストンピン、ロッカーアームなども新設計。軽量化を達成するとともに、摺動部の接触面積も大幅に減少。また、カムチェーンには、ダブルブッシュチェーンを新採用し、重量を大きく軽減すると同時に、カム駆動音も大幅に少なくしています。

最適な点火タイミングをコンピューター制御。
250ccクラス世界初デジタル式
フルトランジスタ・イグニッションシステム。

リッター160馬力という高性能化を達成するには、きめ細かな点火タイミングが要求されます。そのため ALL NEW VT250Fは、250ccでは世界で初めてのデジタル式フルトランジスタ・イグニッションシステムを採用。このシステムユニットに内蔵されたコンピューターが、エンジン回転数に応じ、最適な点火時期をきめ細かくコントロール。この点火制御システムが、高出力にもかかわらずスマーズで、燃費のよいエンジン特性をもたらしています。



この断面写真のように、表面硬化処理により外周部に極めて硬い層を形成、薄い肉厚を可能としたハイパー・コンロッド



①肉抜きにより大きく軽量化されたピストン
②軽量化と同時に通気抵抗を減らした吸・排気バルブ
③ダブルブッシュローラーになったカムチェーン



ホンダの4サイクル・エンジン技術の集大成ともいべき先進機構の数かず。

●バイスター式スラント型2連VDキャブレター。

コンパクト、そして高い吸入効率を誇るV型エンジン専用のキャブレター。走行状態によるフロート面の油面変化に影響されず、均質で安定した混合気を得られます。

●油圧クラッチシステム

250ccクラス唯一の高級メカニズム。軽くてスムーズな操作フィーリングが、いつまでも変わりません。

●クロスレシオ6速ミッション&遊星ギア式チェンジ機構。

適切なレシオ配分でスポーツ・ランを一段と充実させる6速トランスミッション。チェンジ機構には遊星ギアを組み込んでスリムなエンジン幅に納めています。

NEW FRAME & NEW FOOTWORK

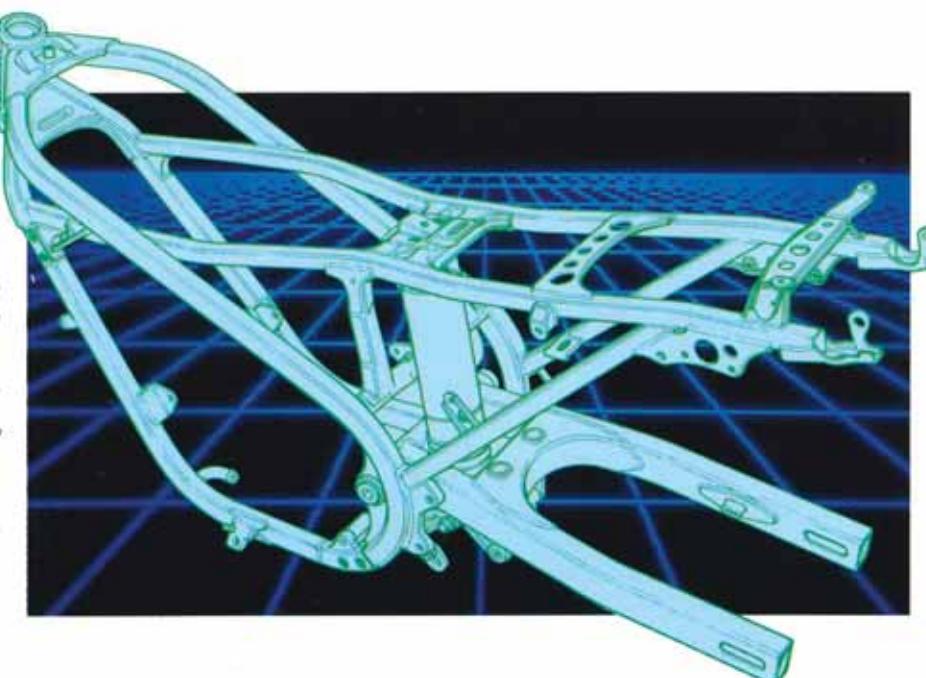
走りへの熱いスピリットを満たす
強じんなフレームと最新鋭の足まわり。

コンピューター解析により、軽量化と高剛性のベストバランスを追求した角型断面ダブルクレードル・フレーム。

鮮烈なイメージばかりでなく、強度・剛性もレーサー仕様に近い、角型断面のダブルクレードル・フレーム。そのフレーム構造は、ホンダ独自のコンピューター解折《CAE》(Computer, Aided, Engineering)により誕生。きわめて合理的に軽量・高剛性が追求されています。左側のダウンチューブは、ラジエーターから冷却水を導く通路。着脱も可能ですので、エンジンメンテナンスを容易にしています。また一次振動“0”の90度V型エンジンのため、重量のかさむラバーマウント方式を採用せず、スーパースポーツとしての軽量設計を徹底。ALL NEW VT250Fのエキサイティングな走りを支える原点となっています。

さらに完成度を高めたニュープロリンク・リアサスペンション。

ALL NEW VT250F専用に新セッティングされたニュープロリンク。ピボット部に加え、リンク部にもニードルローラーベアリングを使用。リンク比率を見直され、その定評あるクッション特性と作動性を、全ストローク域でより向上させ、さらに乗り心地と路面追従性を高めています。もちろん、エア圧を変えることにより、プリロードの調節もでき、ライダーの好みや走行条件にマッチさせたベストセッティングも可能です。



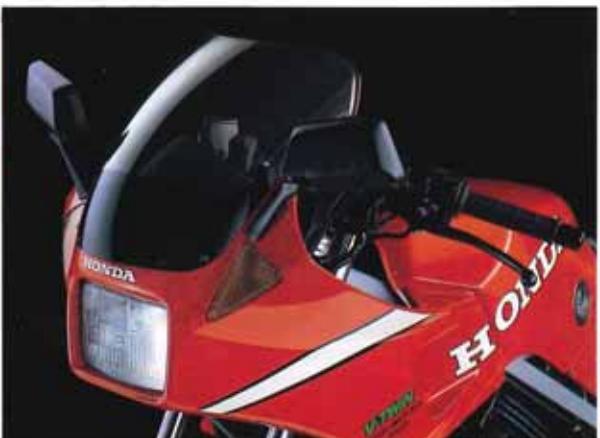
ニューデザインの インボード・ベンチレーテッド・ディスク

“真綿フィーリング”的効き味とすぐれた制動力で好評のインボード・ベンチレーテッド・ディスク。そのデザインも、さらにメカニカルに一新されました。このブレーキシステムは、ラムとディスクの長所を両立。キャリパーが内径部よりブレートをまたぐユニークな構造をとっています。外周部には一体で回転する遠心ファンを設置。大きな吸入口から取り入れた冷却風が、ディスクを効果的に冷却させます。

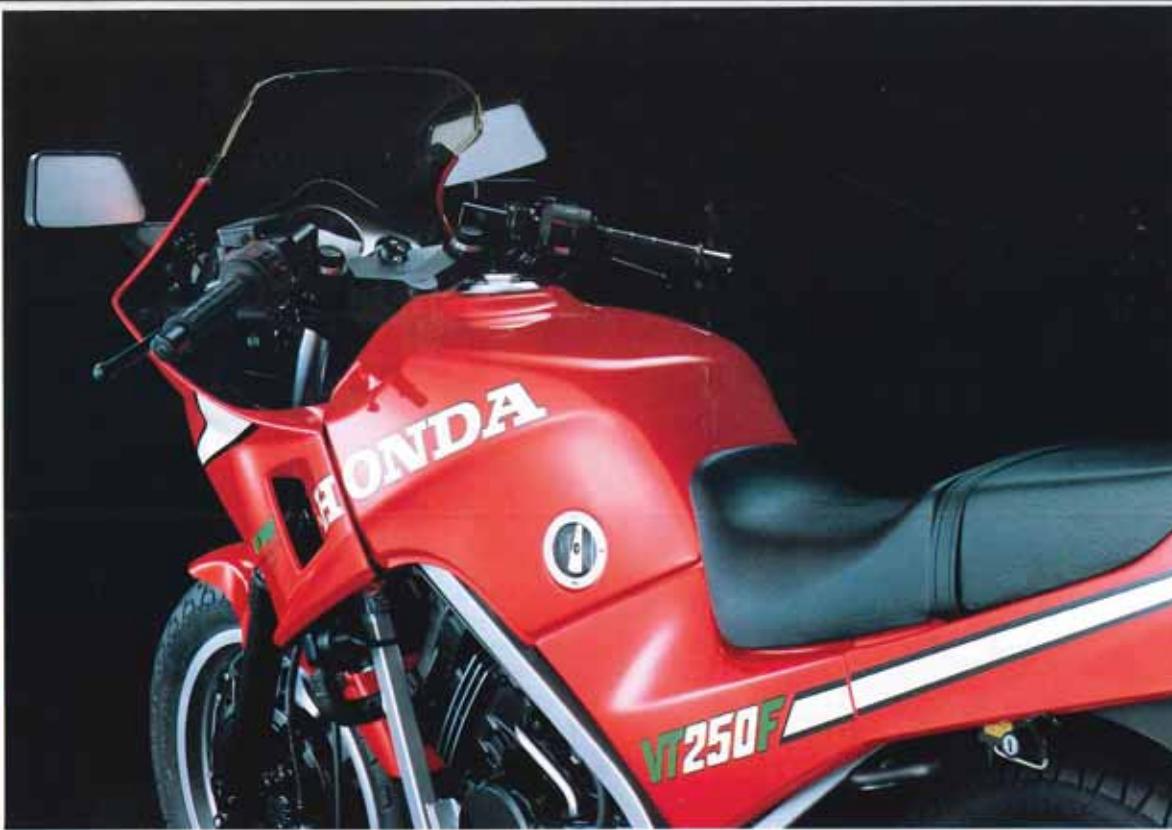
フロント16、リア17インチホイール 新設計・軽量の ブーメラン型オールアルミ・スポーツコムスター

足もとをシャープに引きしめているのは、フロント16、リア17インチの新しい組合せ、軽量ブーメラン型スポーツコムスター。スポーツホイールのしなやかさを備え、とくにコーナーリング時に、すばらしいトレース能力を發揮、軽快な運動性を実現しています。

NEW AERO-SHAPE



ホンダ・空力テクノロジーを結集させた
ニュー・エアロフォルム。



風を制した俊足のシルエット。

タンク一体デザインのボディマウントフェアリング。
ヘッドからテールへ、流麗にインテグレートされた美しいスタイリング。その洗練されたフォルムの顔ともいえる ALL NEW VT 250Fのフェアリングです。ボディマウントのため、タンクと一緒にしたラインはきわめてスムーズ。ミラー、ウインカーはすっきりとフェアリングに組み込みました。しかも、その形状はあくまでも風を科学した結果。長年のロードレースでの経験を生かし、空気抵抗の軽減とライダーのプロテクションが追求されています。



熱い走りを予感させる
卓越した先鋭装備の数かず。

- まさにレーサー感覚の精悍なメーターパネル。レイアウトは、見やすく機能的。タコメーターは、イグニッションからのパルスをひろって計測する、電気式を採用。
- 軽量・高剛性。ブラックカラーのジュラルミン鍛造セバレートハンドル。
- ハンドル手元に機能的にレイアウトされた、スイッチボタン類。ウインカースイッチは、操作しやすいブッシュキャンセラー方式です。
- ロングツーリングにもゆとりの14㍑大型フューエルタンク。
- レーサーイメージの大型フューエルコックレバー。
- 空力デザインのフロントフェンダーとスタビライザー。
- 大光量60W/55Wハロゲンライト。
- ライト&スリム設計から生まれたウインカー、テールライトが一体化されたインテグラル・リア・コンピネーションランプ。



